伏見と不死身

日本語は、比較的少ない母音と子音を使用するので、多くの同音異義語がある。必然的に、語呂合わせや言葉遊びがたくさん生まれ、日本文学は巧妙な言い回しであふれている。

例えば、「不滅の」や「不死身の」を意味する*ふじみ*という言葉は、*ふしみ*としても読める3つの漢字を使用して書かれている。したがって、伏見は*ふじみ*、または不死身なのである。この二つがどのように関連しているか理解するのは簡単だ：伏見城は落城し、大名屋敷や庶民の家々は、戦火よって破壊された。しかし、伏見は今もなお繁栄し、その純粋な湧き水は、変わることなく地下から流れ出ている。